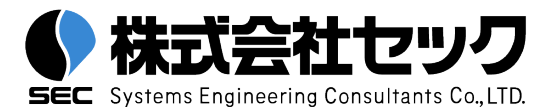


2025年3月期 第1四半期

決算補足説明資料

2024年8月8日

証券コード:3741

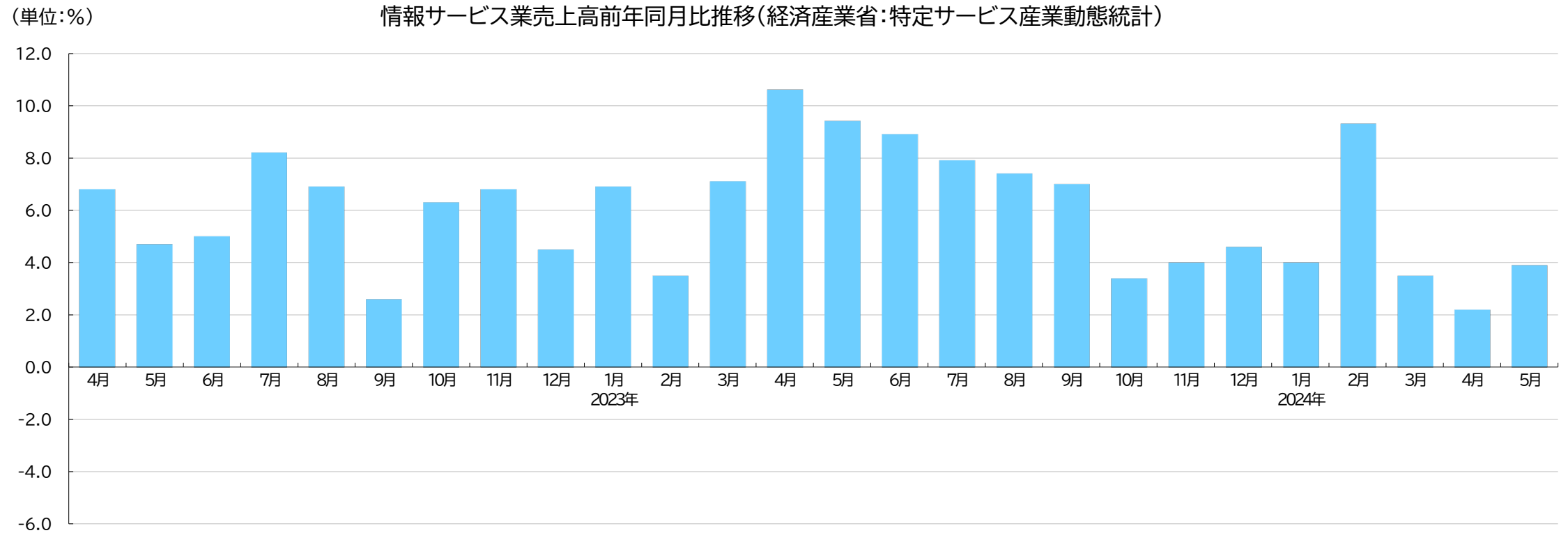


2025年3月期 第1四半期

決算概要

事業環境

2023年4月以降の月別売上高は前年同月比で増加しており、IT需要は全体的には概ね堅調と推察される



2025年3月期第1四半期総括

売上高、営業利益、経常利益の全てで過去最高、
前年同期比で増収増益

	当期（百万円）	前年同期比	利益率
売上高	2,178	119.3%	
営業利益	357	138.8%	16.4%
経常利益	381	137.7%	17.5%
当期純利益	263	138.1%	

受注高、受注残高ともに過去最高

	当期（百万円）	前年同期比
受注高	3,476	148.3%
受注残高	7,067	165.1%

先端技術を窮め、オープン・イノベーションで事業成長を目指す

官公庁向けの開発が引き続き好調であり、医療分野や防衛分野の開発も増加するなど、需要構造の変化に全BF最適化の視点で対応した。

売上高、営業利益、経常利益の全てで過去最高となり、増収増益となった。

受注高は前年同期を上回り過去最高となり、受注残高も過去最高となった。

第1四半期損益計算書

	2024年3月期第1四半期 (百万円)	2025年3月期第1四半期 (百万円)	前年同期比 (%)	期初予想 (百万円)	計画達成率 (%)
売上高	1,826	2,178	119.3	—	—
売上原価	1,290	1,509	117.0	—	—
売上総利益	536	669	124.8	—	—
販売管理費	279	311	111.8	—	—
営業利益 (営業利益率)	257 (14.1%)	357 (16.4%)	138.8	—	—
経常利益 (経常利益率)	277 (15.2%)	381 (17.5%)	137.7	—	—
当期純利益	190	263	138.1	—	—

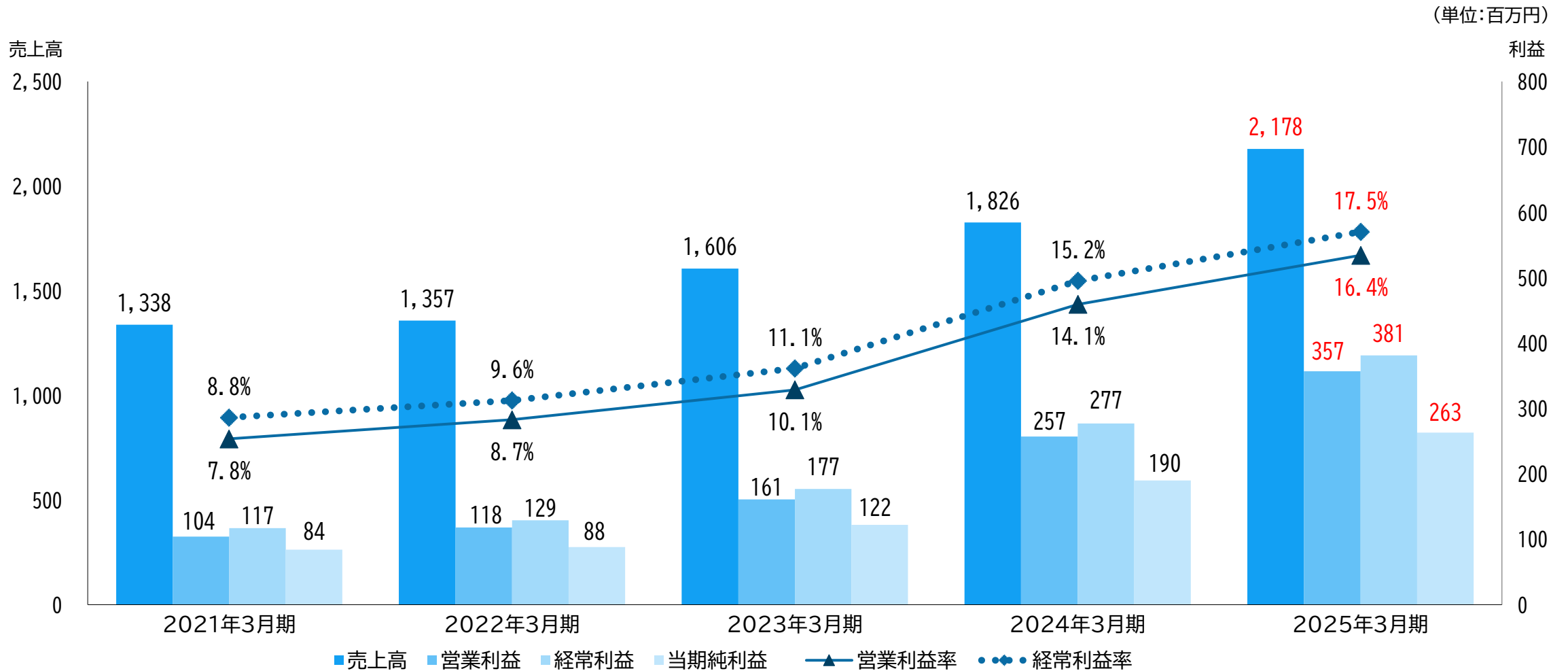
売上原価 外注費が大幅に増加（外注費 7.6億円、前年同期比31.9%増／売上高外注比率35.2%、前年同期比3.4%増）

販売管理費 社員数の増加などにより労務費が増加、研究開発費は31百万円で、前年同期比で93.4%増

営業外損益 研究開発の補助金収入が増加（8百万円、前年同期比272.8%増）

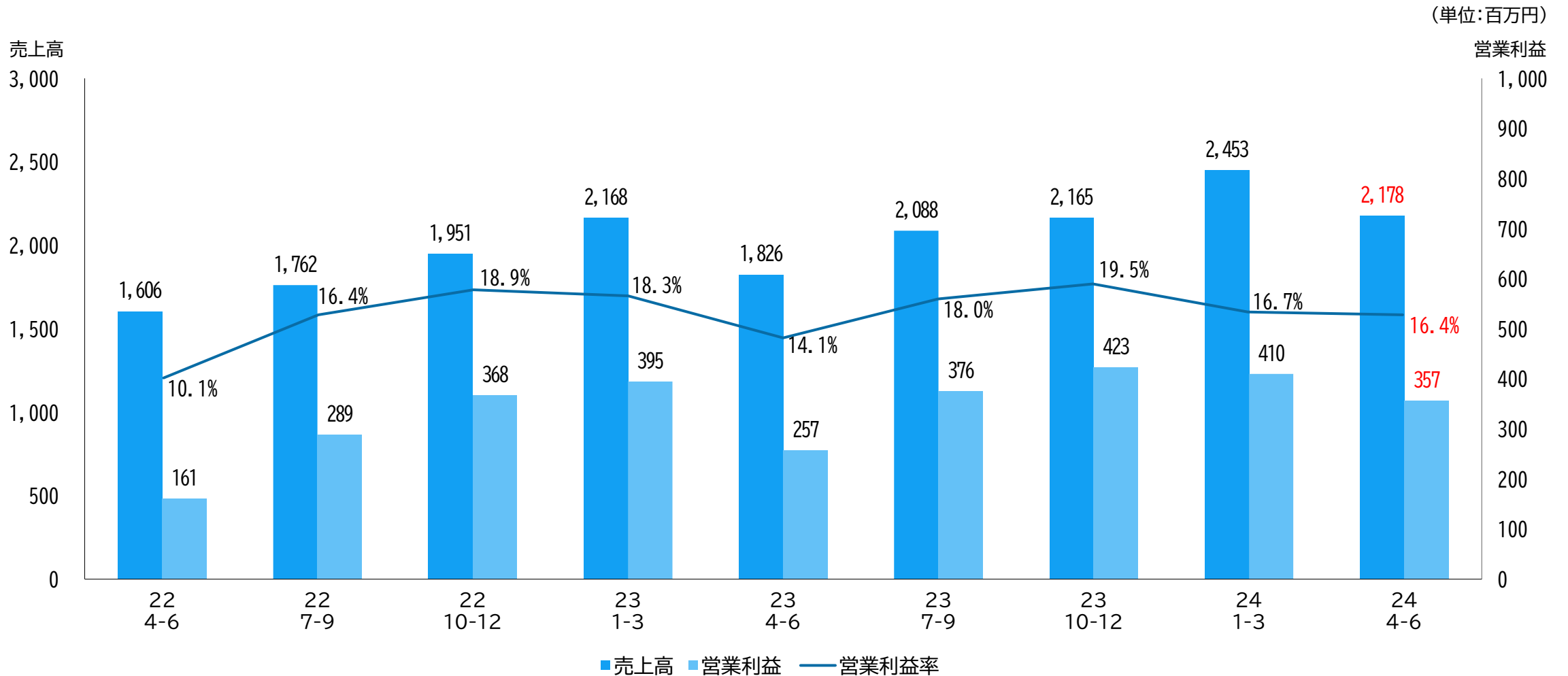
第1四半期決算業績推移(過去5年)

売上高、営業利益、経常利益、当期純利益の全てで過去最高



四半期業績推移(PL)

2021年度第3四半期から、11四半期連続の前年同四半期比増収増益

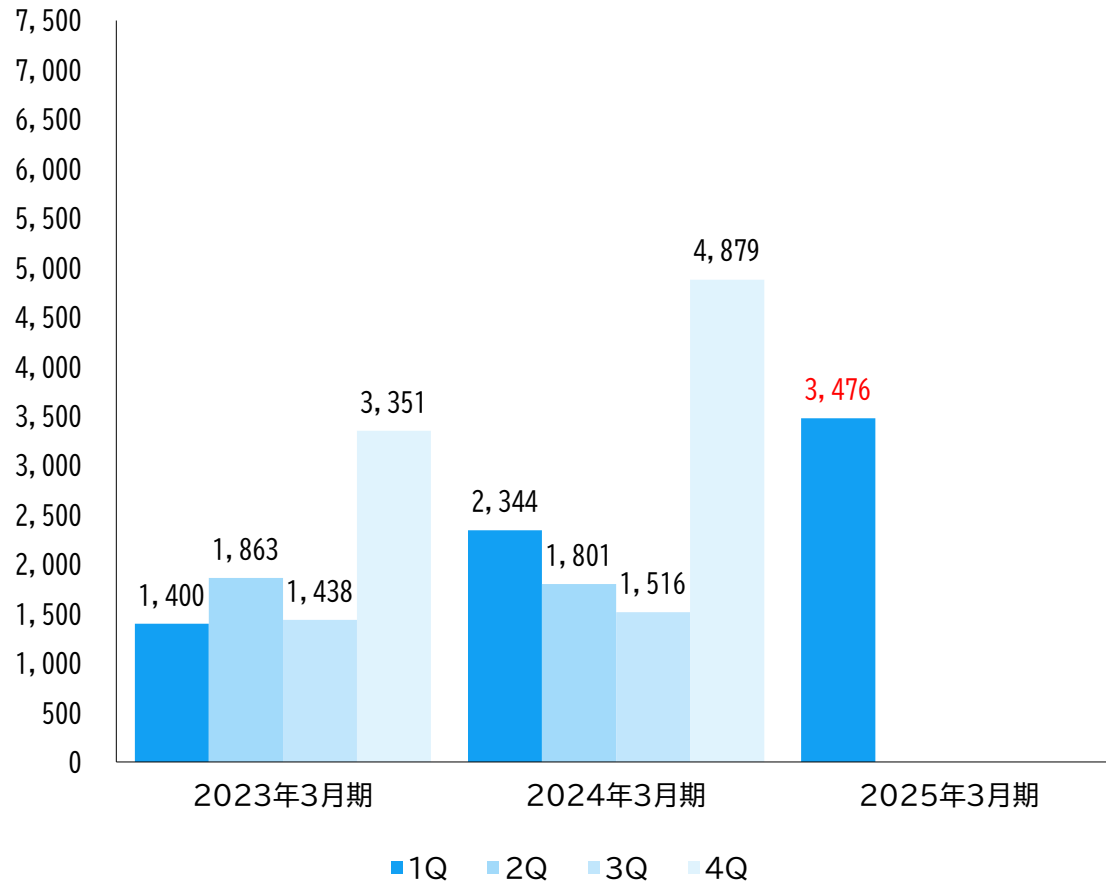


四半期業績推移(受注状況)

受注高、受注残高ともに過去最高

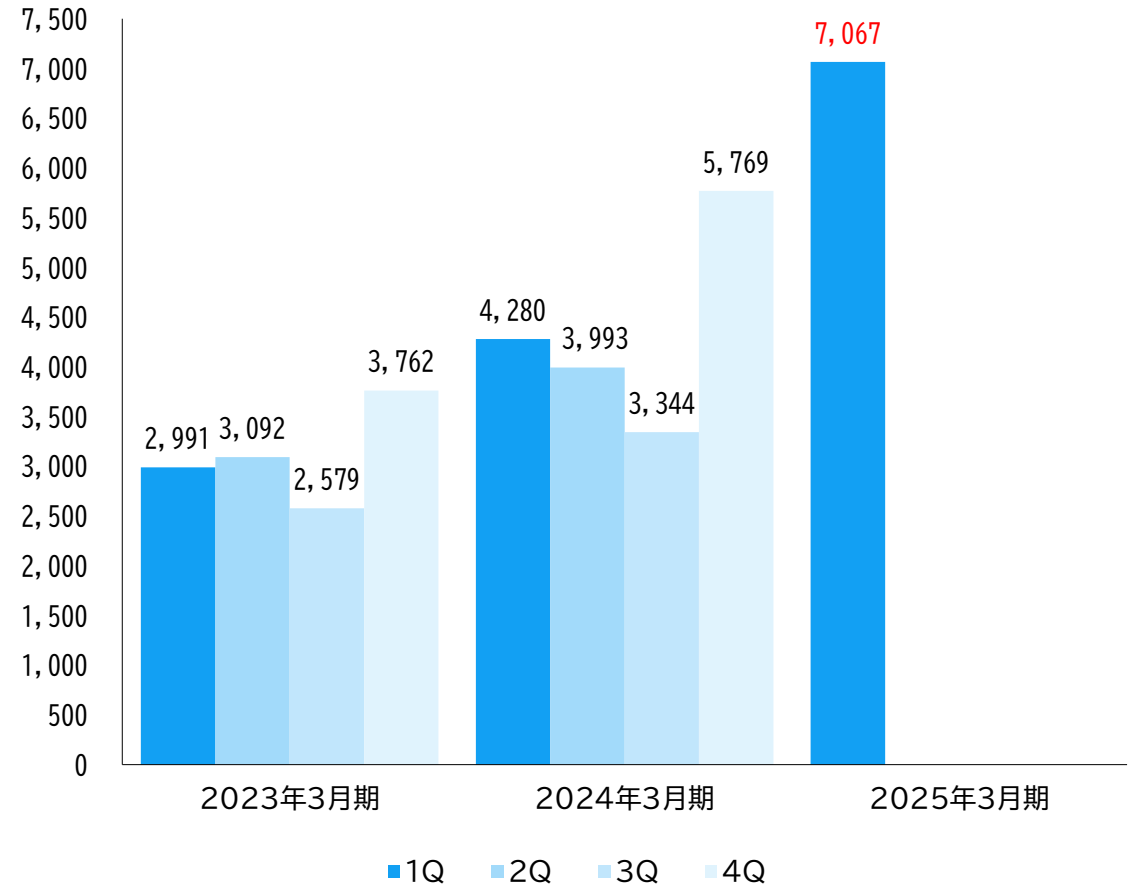
(単位:百万円)

受注高



(単位:百万円)

受注残高



第1四半期BF別の状況

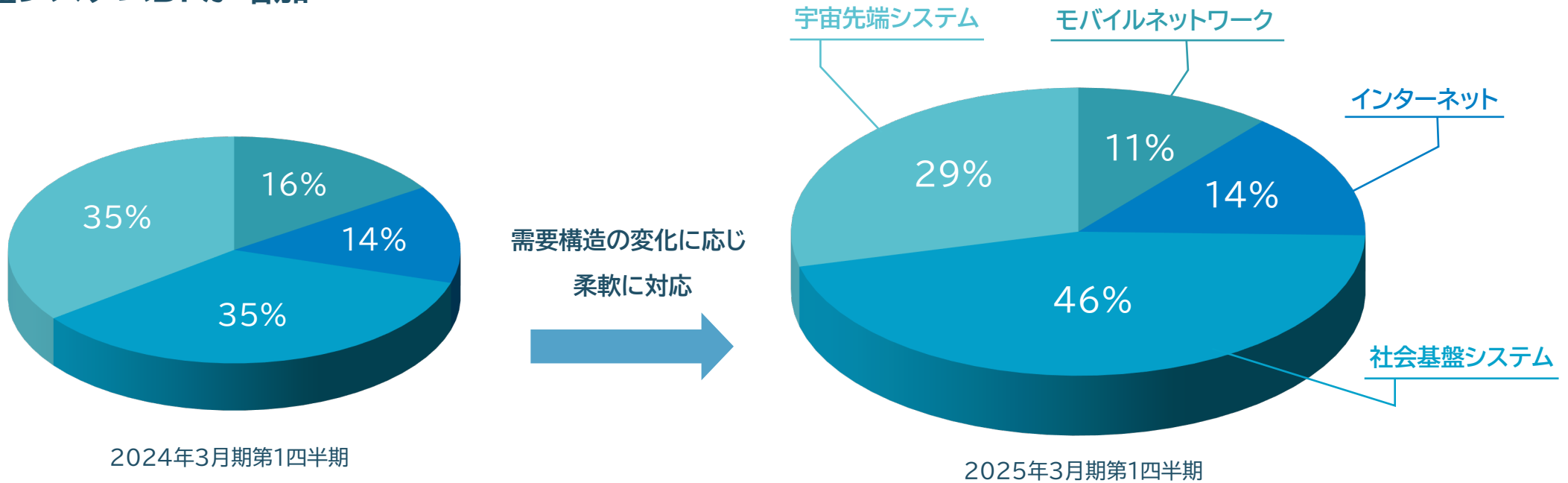
社会基盤システムBF、インターネットBFが大幅に増加

ビジネスフィールド	2024年3月期第1四半期		2025年3月期第1四半期		前年同期比 (%)
	売上高 (百万円)	構成比 (%)	売上高 (百万円)	構成比 (%)	
モバイルネットワーク	286	15.7	242	11.1	84.6
インターネット	255	14.0	311	14.3	121.8
社会基盤システム	638	35.0	996	45.7	155.9
宇宙先端システム	645	35.3	628	28.9	97.3
合計	1,826	100.0	2,178	100.0	119.3

- モバイルネットワークBFは、スマートコンストラクション関連の開発が引き続き堅調であるものの、XR(クロスリアリティ)サービス関連の開発が減少
- インターネットBFは、民間企業向けのDX関連の開発が増加
- 社会基盤システムBFは、環境分野や福祉分野をはじめとした官公庁向けの開発が引き続き好調であることに加え、医療分野や防衛分野の開発も増加
- 宇宙先端システムBFは、車両自動走行の研究開発案件や宇宙ロボット関連の開発が増加したものの、前期のサービスロボット関連の大型案件の反動により減少

第1四半期BF別売上構成比

社会基盤システムBFが増加



モバイルネットワークBF

スマートコンストラクション関連の開発が引き続き堅調であるものの、XR(クロスリアリティ)サービス関連の開発が減少

インターネットBF

民間企業向けのDX関連の開発が増加したが、全体構成比では変動なし

社会基盤システムBF

環境分野や福祉分野をはじめとした官公庁向けの開発が引き続き好調であることに加え、医療分野や防衛分野の開発も増加

宇宙先端システムBF

車両自動走行の研究開発案件や宇宙ロボット関連の開発が増加したものの、前期のサービスロボット関連の大型案件の反動により減少

第1四半期BF別受注状況

医療分野の大型長期案件の受注により、社会基盤システムBFの受注高と受注残高が大幅に増加

ビジネスフィールド	2024年3月期第1四半期		2025年3月期第1四半期			
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	前年同期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同期比 (%)
モバイルネットワーク	340	339	210	62.0	203	59.9
インターネット	357	344	300	84.2	312	90.6
社会基盤システム	649	2,628	2,454	378.0	5,782	219.9
宇宙先端システム	997	967	510	51.2	770	79.6
合計	2,344	4,280	3,476	148.3	7,067	165.1

※ 受注残高のうち、今期売上貢献分は4,428百万円(前年同期比26.5%増)、来期以降売上貢献分は2,639百万円(前年同期比239.0%増)

- モバイルネットワークBFは、XR(クロスリアリティ)サービス関連の受注が減少
- インターネットBFは、民間企業向けのDX関連の受注が増加したが、モバイル決済端末の開発の受注が減少
- 社会基盤システムBFは、環境分野や福祉分野をはじめとした官公庁向けの受注が増加、また、医療分野や防衛分野の受注が大幅に増加
- 宇宙先端システムBFは、前年同期のサービスロボット関連の受注大幅増の反動で減少

2025年3月期

通期業績見通し

2025年3月期業績見通し

4-6月期は好調だったが、概ね計画範囲内であり、業績予想は据え置く

	2024年3月期実績(百万円)	2025年3月期業績予想(百万円)	前期比(%)
売上高	8,534	9,200	107.8
売上原価	5,983	6,390	106.8
売上総利益	2,550	2,810	110.2
販売管理費	1,083	1,240	114.4
営業利益 (営業利益率)	1,467 (17.2%)	1,570 (17.1%)	107.0
経常利益 (経常利益率)	1,547 (18.1%)	1,650 (17.9%)	106.6
当期純利益	1,105	1,145	103.6

売上高 前期と同様の需要環境を見込み、官公庁主体の社会基盤分野のビジネスを中心に推進し、前期比約8%増を見込む

売上原価 社員数増加や待遇向上による人件費の増加、外注費の増加などにより、増加を見込む

販売管理費 研究開発の増加などにより、増加を見込む

営業外損益 前期並みを見込む

当期純利益 前期は賃上げ促進税制の適用により増加したが、今期は税金費用を法定実効税率どおりで計算

2025年3月期BF別業績見通し

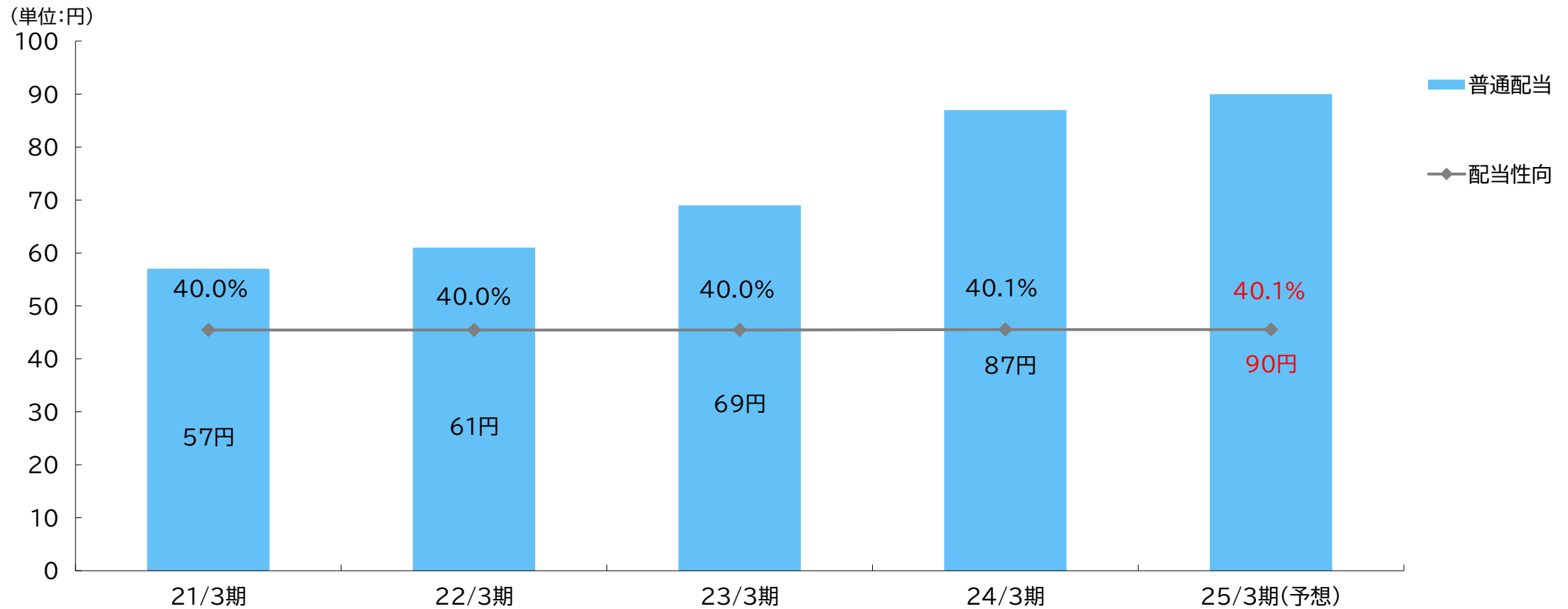
社会基盤システムBF、インターネットBFが想定を上回る増加幅となる見込み

ビジネス フィールド	期初の想定	予想	第1四半期状況判断	予想
モバイル ネットワーク	スマートコンストラクション関連の開発が引き続き堅調であるものの、XR(クロスリアリティ)サービス関連の開発が減少し、微減	➡	スマートコンストラクション関連の開発が堅調であるものの、XR(クロスリアリティ)サービス関連の開発が減少し、想定を若干下回る展開	➡
インターネット	民間企業向けのDX案件が継続するものの、他のBFとの人員配分の最適化により、前期並み	➡	民間企業向けのDX関連の開発が増加し、増加を見込む	➡
社会基盤 システム	環境分野や医療・福祉分野をはじめとした官公庁向けの開発が引き続き好調で、増加	➡	環境分野や福祉分野をはじめとした官公庁向けの開発が好調であることに加え、医療分野の大型案件や防衛分野の開発が増加し、想定を上回る展開	↗
宇宙先端 システム	サービスロボット関連の研究開発案件や宇宙関連の開発が堅調に推移し、増加	➡	車両自動走行の研究開発案件や宇宙ロボット関連の開発案件が増加しているが、前期のサービスロボット関連の大型案件の反動により、想定を若干下回る展開	➡

配当の方針

配当性向40%を目安とし、前期比で每期増配の方針

2025年3月期は、1株当たり90円の配当予想とする。



ご参考: ニュースリリース一覧(2024年3月~2024年7月)

2024年			
3月 5日	<u>ACRiウェビナー(2024年3月8日開催)にて FPGAでのレザバーコンピュティングの活用について技術解説</u>	6月13日	ラジオNIKKEI「ザ・マネー」に代表取締役社長 櫻井が出演
3月11日	<u>国際宇宙ステーション(ISS)内積載物の運搬・操作ロボットシステム「PORTRS」のISS実証用システムの開発の契約先に選定</u>	6月17日	<u>【共同研究】大阪大学の量子コンピュータ・クラウドサービスで動作する、量子計算と古典計算の協調処理を高速化する機能を開発</u>
3月11日	<u>健康経営優良法人2024(大規模法人部門)」に認定</u>	7月 1日	<u>「2024年度 第1期 世田谷ITカレッジ」開講</u>
3月21日	<u>第5回「きぼう」ロボットプログラミングチャレンジ(Kibo-RPC)に協賛</u>	7月17日	<u>「楽しみながら宇宙を体験できる宇宙フェス」に協力(2024年7月20日開催)</u>
4月 9日	<u>令和6年度 科学技術分野の文部科学大臣表彰「科学技術賞(理解増進部門)」を受賞</u>	7月30日	<u>当社が支援しているアストロスケールの商業デブリ除去実証衛星「ADRAS-J」が世界で初めてデブリの周囲の飛行に成功</u>
4月30日	<u>日経CNBC「トップに聞く」に代表取締役社長 櫻井が出演</u>		
5月13日	<u>第41回 ロボット工学とオートメーションに関する国際会議(ICRA 2024)出展</u>		
5月16日	<u>イベント「宇宙への挑戦」開催(2024年6月6日開催)</u>		
5月23日	<u>日本地球惑星科学連合2024年大会にて「時空間データGISプラットフォーム」に関する口頭発表</u>		

- この資料の目的は、当社へのご理解を深めていただくためのIR情報をご提供することであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。投資につきましては、ご自身でご判断願います。
- この資料には、当社の現在の計画、戦略、将来の業績に関する見通しなどが記載されております。こうした記述は、当社の将来の業績を保証するものではなく、経営環境をはじめ、さまざまな外部的要因の影響等により変化しうることをご承知おきください。
- この資料の作成に際しましては、細心の注意を払っておりますが、内容につきましていかなる保証を行うものではなく、この資料を使用したことによって生じたあらゆる損害などについて、当社は一切責任を負うものではありません。